

「熱傷」オンライン投稿規定

[2024年10月改定]

1. 熱傷 (Japanese Journal of Burn Injuries : J J Burn Inj) への投稿論文は、筆頭著者または共同著者のうち少なくとも1名は会員であることを要する。ただし、編集委員会が認めた場合はその限りではない。また、生成 AI は著者になることはできない。なお、学術奨励賞の対象は筆頭著者が会員である論文とする。
2. すべての原稿 (総説, 原著, 看護, 症例, 研究速報, その他) は、投稿規定に従い、ただちに印刷できる状態でなければ受付けない。規定にそわない原稿は、返却, 訂正をもとめる。あるいは編集委員会の責任において字句の修正を行うことがある。
3. 受付けた原稿の掲載の適否, 順序は、編集委員会において決定する。
4. 原稿は、他誌に未発表のものに限る。本誌掲載後の原稿の著作権は本学会に帰属し、他誌への転載を禁ずる。ただし、「生医学雑誌への投稿のための統一規定」 (https://phio.panasonic.co.jp/kinen/shokai/b_gaiyo/hokoku/pdf/rinri_toukou.pdf) に基づいた受理可能な二次掲載など、編集委員会が認めた場合はこの限りではない。他文献よりの表, 図, 写真の引用は「出典明示」と「引用許諾」が必要である。
5. 本誌は46巻1号 (2020年3月発行) よりオンラインジャーナル化して J-STAGE にて公開される。
6. 倫理的配慮・個人情報保護
 - 1) ヒトを対象とする研究は、世界医師会総会で採択されたヘルシンキ宣言 (<https://www.wma.net/what-we-do/medical-ethics/declaration-of-helsinki/>) を遵守して行われたものでなければならない。所属施設の倫理委員会ないしそれに準ずる機関の承認を得たものであることを「結語」のあとに明記する。
 - 2) 個人情報保護については外科関連学会協議会「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針」 (<http://www.jssoc.or.jp/journal/guideline/privacy.html>) を遵守する。なお、個人が特定されうる情報を含む場合の患者からの同意取得については、著者が責任を負うものとする。
 - 3) 動物を対象とする研究は平成18年環境省告示第88号「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」 (https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/laws/nt_h25_84.pdf) に基づき、行われたものでなければならない。原則として所属施設の動物実験委員会 (またはこれに準じるもの) の承認を得たものであることを「結語」のあとに明記する。
7. 不正投稿の禁止
査読審査により、盗用 (盗作), 重複投稿, 類似投稿, あるいは捏造の可能性が指摘された場合には不正論文として編集委員会および理事会で審議を行う。
8. 利益相反
 - 1) 利益相反の有無について、投稿区分を問わず論文の「結語」のあとに一文を明記すること。
記載例 (ない場合): 本論文について他者との利益相反はない。
記載例 (ある場合): 利益相反: 本論文の研究資金 (使用した機材) は株式会社□□から提供を受けたものである。
 - 2) 利益相反のある場合は、臨床研究・基礎研究の利益相反に関する指針, および同施行細則に従い「日本熱傷学会機関誌: 自己申告による利益相反報告書」を本学会事務局に郵送で提出すること。
〔臨床研究・基礎研究の利益相反に関する指針, 施行細則 - 本誌39巻5号会告「臨床研究・基礎研究の利益相反に関する指針」 「同施行細則」, 本学会ホームページ参照〕

9. 投稿の方法

日本熱傷学会ホームページ (<http://www.jsbi-burn.org/>) よりオンライン投稿受付画面に進み、個人ページにログインして投稿する。

ログイン ID：会員番号 (10桁, ハイフンなし)

パスワード：生年月日 (西暦, 8桁 例：19710205) ※ログイン後に変更可能

10. 原稿は、次の様式によること。

1) 原稿用紙は下記のファイル形式で保存する。

・本文ファイル：doc, docx

・図表ファイル：doc, docx, xls, xlsx, ppt, pptx, jpeg

2) 原稿は、常用漢字、現代かなづかいに従って、平がなまじり、横書きとし、A4判用紙に20字×20行で作成する。

3) 外来語、動植物の学名、外国人名、および外国地名などは、片かなまたは原語で入力する。

4) 数字は、アラビア数字を用い、度量衡の単位は m, cm, mm, μm ; kg, g, mg, μg ; s, min, h, day; l, dl, ml などとする。

例えば mg/dl; vol%; mg/kg/day (体重/kg 当たり毎日…mg 投与); 37°C または 310K

5) 和文原稿には、英文抄録 (200語以内)、和文抄録 (800字以内、症例は400字以内) をつける。英文原稿には、和文抄録 (800字以内、症例は400字以内)、英文抄録 (400語以内) をつける。英文は原稿、抄録とも必ずダブル・スペースにタイプする。英文抄録、和文抄録とも所属施設名も明記する。英文の投稿論文は投稿前に英語を母国語とする者の校閲を受けること。

6) 図 (写真, グラフ) の最低解像度は1つあたり 300 dpi とし、図表ファイルの容量は1ファイル 15 MB までを目安に作成する。1ファイルで 15 MB を超える場合は2個のファイルに分割する。記載順は本文挿入順とし、それぞれ図1, 図2, あるいは表1, 表2のように番号をつける。図表タイトル, 説明文は最終ページにまとめる。

印刷に不相当である図表原稿は、修正やトレースを行うことがある。この場合の経費は著者負担とする。

7) 記述の順序は、表紙 (表題, 所属, 著者・共同著者氏名), 和文抄録, 本文, 文献, 英文抄録とする。

8) 文献は、重要なもののみにとどめ、本文中の引用箇所順に順次肩番号をつけ、本文の末尾に一括して次のように記載する。

①雑誌の場合

番号) 著者名 (3名, 他): 題名, 雑誌名 発行年; 巻: 最初頁-最終頁. の順に記載する。

[例]

1) 深野兼司, 糠塚ひろし, 田熊清継, 他: 創傷被覆材の評価のためのラットII度熱傷モデル. 熱傷 2001; 27: 242-251.

2) Roberts R, Kelson E, Good-Wilson D, et al.: Motorcycle exhaust burns in children. Burns 2002; 28: 367-369.

②単行本の場合

番号) 著者名: 題名, 編集者名, 書名, 版数, 引用巻, 発行所, 発行地, 発行年, 引用頁. の順に記載する。

[例]

3) 小林国男: IX. 栄養管理. 平山 峻, 島崎修次編, 最新の熱傷臨床-その理論と実際-, 克誠堂出版, 東京, 1994, pp.215-229.

4) Traber DL, Herndon DN, Soejima K: The pathophysiology of inhalation injury. In: Herndon DN ed, Total Burn Care. 2nd ed, WB Saunders Co, Philadelphia, London, Toronto, 2002, pp. 221-231.

③文献内よりの再引用文献の場合は次のように記載する。

[例]

5) 山田直人, 島倉康人, 一氏俊世, 他: 小児重症熱傷の最近15年間の変化. 熱傷 2002; 28: 1-8. p.5より引用。

6) Shakespeare P, Shakespeare V : Survey : use of skin substitute materials in UK burn treatment centres. Burns 2002 ; 28 : 295-297. p.296 より引用.

④外国語表記の電子ジャーナルからの引用は、ページのあるものは英文誌文献の記載に準ずる。ページのないものは、ページの代わりに文献ナンバーを記載する。いずれの場合もジャーナル名はフルネームで記載する。

⑤学会発表の抄録は引用文献としない。

9) キーワードを、和文抄録のあとに付記する。3語以上5語以下とする。原則として表題に使用している語句はキーワードとしない。用語はそれぞれ医学中央雑誌および Index Medicus に用いられている語 (word) に準ずる。

10) 原稿中の用語は「熱傷用語集」(日本熱傷学会用語委員会編)に記載されている語彙を使用する。

11) 原稿中の薬剤名は商品名ではなく一般名のみを使用する。

12) 国際医学雑誌編集者委員会 (ICMJE) の勧告に記載されている生成 AI (人工知能) が支援する技術についての記載に基づき、本誌では著者が執筆する過程において生成 AI および AI 支援技術を使用する場合、以下のように開示することを求める。

①著者は、原稿本文の末尾、参考文献リストの前に、「執筆過程における生成 AI および AI 支援技術の申告」と題するセクションを設け、生成 AI および AI 支援技術の使用に関する記述を追加することにより、執筆過程における生成 AI および AI 支援技術の使用を開示しなければならない。

②記載する内容は、本論文の作成中、著者らは「本文中の使用した内容」について「理由」のために「ツール／サービス名」を使用して「使用したプロンプト」という指示を出して作成した。と記載する。

なお、開示するものがない場合は、本セクションを追加する必要はない。

11. 掲載料は無料とし、おおむね下記の範囲内で作成することが望ましい。

	原 稿	図表・写真
総 説	25 枚以内	15 以内
原 著	20 枚以内	10 以内
看 護	20 枚以内	10 以内
症 例	15 枚以内	7 以内
研究速報	10 枚以内	2 以内

12. 校正は、著者の責任で行う